

建交労 ひかい

2026年8月号

発行：建交労 No.269

岐阜農林建設連合支部

〒501-4234

郡上市八幡町五町1-4-15

電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす

労災職業病部会

第28回総会

開催！

7月23日～24日、チサンホテル浜松町で労災職業病部会第28回総会が開かれました。

来賓としてトンネルじん肺根絶訴訟弁護団 水口洋介弁護士・佐藤陵一闘争本部長はじめ、いの建全国センター・全日本民医連・建設アスベスト訴訟全国連絡会・建交労 足立中央執行委員長が出席、激励の挨拶をいただきました。

福富保名事務局長らより、2025年度経過・会計報告、2026年度運動方針(案)・会計予算(案)の提案がありました。

職業病をなくすこと、療養補償内容の後退を許さず拡充するためには、組織拡大が最も重要です。まさに『数は力』なのです。組織拡大目標として、10パーセントの純増、具



労職総会 組織強化に向けての団結ガンバロー

体的な計画と実践について以下の提案がなされました。

①支部・分会などで組織拡大に向けた討論をかさね、それを確実に実践

②組織拡大の基本は、仲間による紹介活動。気軽に声をかけよう

③創意工夫を加えながら「健康相談会」にとりくむ

また、熊本では名刺サイズ of 組合紹介ちらしを組合員1人あたり500名持ち、日常的な紹介活動を実践しているなど、全国各地から、組織拡大に向けて取り組んでいることの報告がありました。全国の運動に学び、当組織でも組織拡大を実践していきましよう。

全国トンネルじん肺根絶8陣 北陸中部訴訟

8月1日(水)、福井地方裁判所において全国トンネルじん肺根絶8陣訴訟の第2回口頭弁論(追加提訴)が開かれました。

開廷前に、原告団の皆さんを中心に支援する仲間約50名でデモ行進を行いました



デモ行進をする原告団のみなさん

めず和解額の減額を主張してきたのです。こうした被告の態度は許されないと、福井市中央公園から福井地方裁判所までのデモ行進となりました。

久しぶりのデモ行進です。富山県本部書記長の高崎治重さんのシュプレヒコールの音頭に力強く唱和の声が響きました。福井のみなさんが丹精込めたプラカードを、道行く人が目で追っていました。

この日の弁論では、被害立証のためにじん肺被災者の療養の様子を写したビデオを視聴しました。苦しい発作に襲われベッドで身をおよじる姿を、裁判長が食い入るように見ていました。

た。肺機能障害(十)の原告の方について、労働基準監督署が誤って肺機能障害(二)と記載した診断書が提出されました。すぐに原告弁護団で訂正したものを提出したのですが、被告安藤ハザマらは、頑なに認

弁論終了後、福井弁護士会館で記者会見と報告集会が開かれました。

次回期日は、8月18日(火)午後4時です。被告の暴挙を許さず、1日も早い早期解決と裁判により救済するトンネルじん肺救済法の成立に向けた運動を進めていきます。



裁判についての報告集会



和解成立に喜ぶ原告と支援の皆様

全国トンネルじん肺根絶第8陣訴訟 東京地裁 7名の勝利和解成立！

7月15日、全国トンネルじん肺根絶8陣訴訟の第9回口頭弁論が、東京地裁で行われました。全国から原告、弁護士、支援者ら約80名が集まりました。

口頭弁論と併せ、前日には国会議員要請行動を行いました。裁判によらずに解決する基金制度を創設するために国会議員のみなさんの力が不可欠です。超党派で議員懇談会が発足したことをうけ、お礼と引き続き

の支援を要請しました。岐阜県選出の野田聖子衆議院議員・若井敦子衆議院議員の議員事務所を訪問し、秘書に要請の趣旨を説明しま

した。

第9回弁論で、原告7名の和解が成立しました。裁判長は、被告ゼネコンに、じん肺被害を防げなかったことを粛々と受け止め、被災者や亡くなられた方たちに謝意と弔意を示すよう求めました。

弁論終了後、四谷プラザエフで報告集会が開かれました。第8陣原告代表の広沢裕俊さんは「全員和解に向けて、暑い中頑張ってくださいありがとうございます。と支援する仲間をねぎらいました。

次回、東京地裁の弁論期日は、9月14日(月)です。残る原告のみなさんの和解が予定されています。早期解決と健康管理、裁判によらない救済制度の創設をめざします。

2026年7月の活動経過

7/1 トンネルじん肺根絶訴訟 弁論
 7/10 主治医面談
 7/14~15 トンネルじん肺根絶訴訟弁論
 7/23~24 全国労災職業病部会総会
 7/24 神岡じん肺訴訟 弁護団会議
 7/31 神岡じん肺訴訟 闘争本部会議

@福井地方裁判所
 @長森さのクリニック
 @東京地方裁判所
 @チサンホテル浜松町
 @リモート参加
 @郡上市文化センター

2026年8月の活動予定

8/5 主治医面談
 8/10 主治医面談
 8/18 トンネルじん肺根絶訴訟 弁論
 8/20 執行委員会
 8/24 なくせじん肺キャラバン実行委員会
 8/25 神岡じん肺訴訟 弁護団会議
 8/29~31 建交労 定期大会

@長森さのクリニック
 @市立東濃中部医療センター
 @福井地方裁判所
 @郡上市文化センター
 @リモート参加
 @リモート参加
 @栃木

編集後記

今年も稲がすくすく育ち、収穫まで残すところ1か月余。穏やかな気持ちで成長を見守っています。などとお伝えしたいところだが、現実には甘くない。追肥・防除・畦草刈りとけっこう忙しい。

カメムシに吸われると、白い米粒に黒い斑点ができてくる。そのためカメムシをよせつけないために農薬散布をする。粉剤は、動噴に直径10センチぐらいの長い風船みたいな袋をつけて散布する。袋に空いた穴から粉が煙のように噴出するという仕組みだ。袋を田圃の両端からひっぱるので2人作業となる。

「ちよつと！ひっぱらないでよ！」「こつちは、20キロの動噴背負つとるんじゃ。なんでそうもたもたする！」離れているし動噴の騒音の中、大声でないと届かないので、怒鳴り合いになる。というより日頃よりすこぶる仲の良いわが家だからこそ怒鳴り合いになつてしまう。隣のヤスタカ氏家でもトシユキさん家でも大声で言い合っているのが聞こえる。この時期、家庭の事情がよく分かる。

「さつきさ、消毒しとつたでしょ。あんたの声が聞こえたからさ。終わったみたいだからコーヒー飲みに行こうよ。」家に帰るとすぐに友達からお誘いの電話があつた。